

平成17年9月1日  
原子力安全対策課  
(17-46)  
<10時資料配付>

## 敦賀発電所1号機の新燃料輸送について

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力35.7万kW）は、本日、新燃料集合体40体を受け入れた。

### 1. 輸送年月日

平成17年8月31日20時30分 (株)グローバル・ニュークリア・フェュエル・ジャパン 発  
(神奈川県横須賀市)  
平成17年9月1日6時45分 敦賀発電所 着

### 2. 輸送数量等

新燃料集合体 40体  
輸送容器 20個

### 3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

### 4. 輸送方法

陸上輸送

問い合わせ先（担当：三木）  
内線2352・直通0776(20)0314

## <参考>

### 「輸送における安全性について」

#### 1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

#### 2. 輸送容器の概要

型式 ; R A J-II型・・・20個

形状 ; 箱形

寸法 ; 幅約1m、高さ約1m

重量 ; 約1.5トン（輸送容器だけで約0.9トン）

材質 ; ステンレス鋼製

#### 3. 輸送物の安全確認

本輸送物（A型核分裂性輸送物）については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、独立行政法人 原子力安全基盤機構により確認されたものです。

#### 4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両の積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察・自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置を取ることにしており、十分な安全対策が講じられることとなっております。

## 『A型核分裂性輸送物の安全基準』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条の2に基づき国が定めている『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

### ①線量当量率

表面で、 2 ミリシーベルト／時以下  
表面から 1 m 離れた位置で、 0.1 ミリシーベルト／時以下

### ②表面密度限度

$\alpha$  線を放出する放射性物質の場合、 0.4 ベクレル／cm<sup>2</sup>以下  
 $\alpha$  線を放出しない放射性物質の場合、 4 ベクレル／cm<sup>2</sup>以下

また、 A型核分裂性輸送物の試験条件には、

### ①一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

### ②特別の試験条件

9 m 落下試験、棒上の 1 m 落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することになっている。